

『NEUROINFECTION』 投稿規程

[2012年 12月改訂]
[2013年 5月改訂]
[2013年 9月改訂]
[2021年 7月改訂]
[2024年 6月改訂]

1. 投稿にあたって

- 1) 著者、共著者は日本神経感染症学会学会員に限らない。
- 2) 論文の内容は神経感染症に関連するものを広く採用する。
- 3) 投稿論文(原著、症例報告)は国内外の他雑誌に掲載されていないもの、あるいは投稿中でない論文に限る。なお、英文の論文も受け付ける。
- 4) 投稿論文の採否は編集委員会での審査により決定する。
- 5) 論文審査料は無料とする。
- 6) 論文掲載料は無料とする。
- 7) 別刷は有料とする。
- 8) すべての論文の著作権は日本神経感染症学会に帰属する。
- 9) 原稿の送付先：日本神経感染症学会 編集委員長宛
原稿送付先メールアドレス：shin-kan-toko@shunkosha.com
- 10) 投稿論文のファイルとともに、**共著者全員の署名の入った[様式 1]投稿承諾書、必要な場合は[様式 2]患者同意書、および利益相反に関する[様式 3]自己申告書(COI)**を送ること。

2. 論文の構成

投稿論文(原著論文、症例報告)は以下のとおりとする。

	要約	本文	文献	図・表	英文抄録
原著論文	300字	8000字以内	30個以内	8個以内	500語
症例報告	300字	6000字以内	20個以内	6個以内	500語

但し、学術集会の会長講演・特別講演・教育講演・シンポジウム等の総説掲載については原著論文の規定に従って論文を作成し、英文抄録は不要とする。

3. 執筆要項

- 1) 表紙に和文、英文で表題、著者名、所属、責任著者 (corresponding author) の氏名、連絡先を記す。
- 2) 表紙に Key Words を英語と日本語で挙げる。(5つまで)
- 3) 原著論文の場合：要旨(英文抄録含む)・本文(はじめに・目的、対象・方法、考察、結論または結語、文献、表、図)から構成する。
- 4) 症例報告の場合：要旨(英文抄録含む)・本文(はじめに、症例、考察、結論または結語、表、図)から構成する。病歴等の年月は西暦を用いて年、月までは具体的な数字で示し、日付については「上旬」、「中旬」、「下旬」もしくは「某日」とする。発症当日を発症第1日目(X)あ

るいは受診当日を受診第1日目(X)として、「X-〇日目」「発症〇日後」「第〇病日」と記載してもよい。

- 5) 専門用語以外は当用漢字、現代仮名遣いを用い、句読点を正確に書く。
- 6) 外国語の固有名詞(人名、地名)は原語のまま用いる。すでに日本語化して久しいものはなるべくカタカナとする。商標薬品名[®]、その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが、文中の外国語単語(病名、その他)の頭文字は、ドイツ語名詞及び文頭の場合を除きすべて小文字とする。
- 7) 数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm², Kg, g, mgなどとする。
- 8) 図、表には必ず表題をつける。また必要に応じて説明もつけること。組織標本には染色法とスケールを記載する。写真の中に scale bar を入れ、図説明に「Bar=100 μm」などと示すこと。
- 9) 文献は本文に用いられたものを引用順に挙げ、引用番号は、本文中の引用箇所には肩番号で記す。また、文献は下記のように記載し、欧文雑誌の略名は最近の Index Medicus に従う。

[雑誌の場合]著者氏名：題名、誌名、巻数：起始頁－最終頁、西暦発行年

[書籍の場合]著者氏名：書名、版数、発行所名、発行地、西暦発行年、巻数、引用頁

執筆者名：論文名、書籍名、編集者名、章(または巻)、発行所名、発行地、
西暦発行年、引用頁(起始頁－最終頁)

学会発表の抄録を引用するときは表題の最後に(会)、欧文発表の場合は(abstr)とする。

- 10) 引用文献の著者氏名は、3名以内の場合は全員を書き、4名以上の場合は3名連記の上、「ほか」あるいは et al とする。
- 11) 患者同意書は個人情報保護の観点から、顔写真など患者個人の同意書が必要とされる情報を論文に記載する場合は、著者が必ず投稿前に患者から同意書を取得し、原本は手元で保管して、コピーを編集委員会へ提出する。書式は倫理委員会で承認されたものあるいは本誌指定の書式を用いること。
複数の患者・家族からの同意書を必要とする場合には、全員から同意書を得ること。
また、意識障害や認知症などにより当該個人から同意書を得ることが困難な場合は、適切な代諾者(配偶者、親、子、後見人など)の同意でもよい。本人が死亡している場合は、倫理委員会での承認を得てオプトアウトをおこなうか、遺族からの同意書を得ること。

4. 研究倫理の遵守と個人情報保護の方針

研究倫理の遵守と個人情報の保護については以下に則るものとする。

1) 臨床研究

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に該当する施設における倫理委員会の承認が必要とされる研究については、倫理委員会で承認済みであることおよびその承認番号を論文(方法)に記載すること。

指針は以下の Web site に掲載されているので参照すること。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>

2) 症例報告

遺伝学的検査については被験者より予め文書で同意を得ていること。

さらに、個人情報保護のために、論文に記載する個人情報^{*}は、学術的に必要な範囲に留め、個人が特定されないように充分配慮すること。原則的に診療年月日は月(上、中、下旬)までとし、出身地・居住地は原則として都道府県までに留めること。

学術的価値により、顔写真など個人が特定される情報を掲載する必要がある場合には、予め患者・家族の同意書を要する。患者が特定される身体写真については、図説明に「患者の許可を得て掲載」と記載すること。

*注): 個人情報には以下のものが含まれる。

「個人名」、「イニシャル」、「診療録ID」、「生年月日」、「診療年月日」、「出身地」、「居住地」、「顔を含んだ身体写真」など。

5. 利益相反にかかわる自己申告

教育、研究という学術機関、学術団体としての責任と、産学連携活動に伴い生じる個人の利益とが衝突・相反する状態(利益相反 **conflict of interest: COI**) が必然的・不可避免的に生じてきている。この利益相反状態を日本神経感染症学会が適切に管理(マネジメント)して、初めて学会員が国民に信頼される教育・研究・診療活動を行うことが可能になる。日本神経感染症学会としては、「臨床研究の利益相反(COI)に関する共通指針(以下「共通指針」という)」に則り、本学会における運用として、投稿に際しては利益相反にかかわる文書を添付するものとする。(COI の用紙を使用。)

6. 引用文献例

- 1) Whitley RJ, Alford CA, Hirsch MS, et al: Vidarabine versus acyclovir therapy in herpes simplex encephalitis. *N Engl J Med* 314:144-149, 1986.
- 2) Baringer JR, Pisani P: Herpes simplex virus genomes in human nervous system tissue analyzed by polymerase chain reaction, *Ann Neurol* 36:823-829, 1994.
- 3) 水谷裕迫、水谷弘子、亀井聡、ほか：単純ヘルペスウイルス脳炎のウイルス血清学的診断に関する研究、*感染症学会誌* 58:187-196, 1984.
- 4) 平井良、三浦夕美子、綾部光芳、ほか：海馬に局限した MRI 所見を呈したヘルペス脳炎で、肺小細胞癌が判明した 1 症例(会)、*Neuroinfection* 8:57, 2003.
- 5) Heilman KM, Valenstein E, eds: *Clinical Neuropsychology*, 2nd ed. Oxford University Press, Oxford, 1985, pp94-97.
- 6) 岩田誠、織田敏次 監修: 新・病気とからだの読本 第 1 巻 消化器、暮らしの手帖社、東京、2000, pp52-58.
- 7) 高須俊明: ウイルス性脳炎(亀山正邦、高倉公明、編)。今日の神経疾患治療指針、医学書院、東京、1994、pp325-328.

投稿承諾書

西暦 年 月 日 提出

日本神経感染症学会 殿

論文題名： _____

筆頭著者 所属： _____

フリガナ 氏名： _____ (印)

責任著者 所属： _____

フリガナ 氏名： _____ (印)

上記の論文を日本神経感染症学会に投稿することを、共著者として承諾いたします。
また、本論文の著作権が日本神経感染症学会に帰属することに、筆頭著者を含め異議ございません。

共著者

所属： _____ フリガナ 氏名： _____ (印)

所属： _____ フリガナ 氏名： _____ (印)

所属： _____ フリガナ 氏名： _____ (印)

所属： _____ フリガナ 氏名： _____ (印)

所属： _____ フリガナ 氏名： _____ (印)

事務局記録	論文番号	受理(西暦)	年	月	日
-------	------	--------	---	---	---

[様式 2]

患者同意書

私は、自身に関する情報が下記論文に含まれることの説明を受け、下記論文が日本神経感染症学会が刊行する学術誌「NEUROINFECTION」に掲載されることに同意します。

論文題名：_____

筆頭著者名：_____

(西暦) 年 月 日

患者署名：_____ ⑩

代諾者署名：_____ ⑩

(患者自身が署名できない場合)

NEUROINFECTION 自己申告によるCOI報告書

著者全員氏名：(コンマで区切ってご記載ください)：

論文題名： _____

(著者全員について、投稿時から遡って過去1年間以内での発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI状態を記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
① 報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	(記載例、日本太郎：〇×製薬)
② 株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③ 特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④ 講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有・無	
⑤ 原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	

<p>⑥ 研究費・助成金などの総額</p> <p>1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上</p>	有・無	
<p>⑦ 奨学(奨励)寄付などの総額</p> <p>1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上</p>	有・無	
<p>⑧ 企業などが提供する寄付講座</p> <p>(企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)</p>	有・無	
<p>⑨ 旅費、贈答品などの受領</p> <p>1つの企業・団体から年間5万円以上</p>	有・無	

(本 COI 申告書は論文掲載後 2 年間保管されます)

申告日(西暦) 年 月 日

Corresponding author (署名) _____ (印)

※Corresponding author (責任著者) 各位

投稿論文が採択され雑誌に掲載された際には、申告された COI 状態について、論文末尾、謝辞または引用文献の前に掲載いたします。開示すべき COI 状態がない場合にも、その旨を同部分に掲載いたします。

例 1 : 本論文に関連し、開示すべき COI 状態にある企業・組織や団体

研究費・助成金 : ○○製薬

奨学寄付金 : ○○製薬

寄付講座 : ○○製薬

例 2 : 本論文に関連し、開示すべき COI 状態にある企業、組織、団体はいずれもありません。